

一宮町長  
馬淵 昌也

先般皆様に「案内差し上げた」一宮に複合遊具を「プロジェクト」という住民協働の試みですが、その後の状況をご報告いたします。

すでにお知らせ申し上げたとおり、このプロジェクトは、町民の稲川里恵さんを中心に、町民有志の方々が始められたものです。町の予算で直ちに設置するのが難しい、小さい子どもたちが主としてお使いになる複合遊具を、民間で寄付を集めて購入・設置まで進もう、という趣旨の運動でした。たいへん活発に活動していただき、数ヶ月の間に、たいへん高いレベルの成果を上げていただきました。

ただ、目標額には残念ながら届きませんでした。そこで、稲川さんたちとわたくしどもで協議を行い、本事業がもつ深い意義を確認し合った上で、住民と役場の共同事業と位置づけ直して先へ進むことにしました。稲川さんたちが集めてくださった資金を町へご寄付いただき、それをベースに役場を寄付窓口にして、稲川さんたちとわたくしどもが一緒に寄付を集めて、目標額をめざす、ということになりました。

一般の議会だよりに稲川さんも記してくださいましたが、それから、7月の暑い時期を中心に、稲川さんと、わ

たくし馬淵と二人三脚で、町内外の、これまでご縁をいただいていた皆さんのところへお願いに上がりました。そして、本プロジェクトの趣旨をお話し申し上げ、ご協力を仰ぎたい旨、お願いを差し上げました。

その結果ですが、たいへん大きなご厚意でわたくしどものお願いにお答えくださる皆さんが、当初想像していたよりも、はるかに大勢いらつしゃいました。そこで、最終的に、一般寄付と、ふるさと納税と、企業版ふるさと納税の三つの回路で、総額11,736,990円のご寄付を集めることができました。これは、目標の額を満たす、たいへん大きな金額です。稲川さんと二人、感激の余りにご寄付を賜った方の前で落涙したこともありました。

その後、これを原資に予算案を組み、9月議会で認めていただきました。現在、すでに発注も済み、年明けから設置工事が始まります。年度末には、遊具がお披露目となります。

この事業のその後の展開は以上の通りです。この場をお借りして、各方面でお力添えを賜った皆さんに、改めて衷心より御礼を申し上げます！ ありがとうございます！